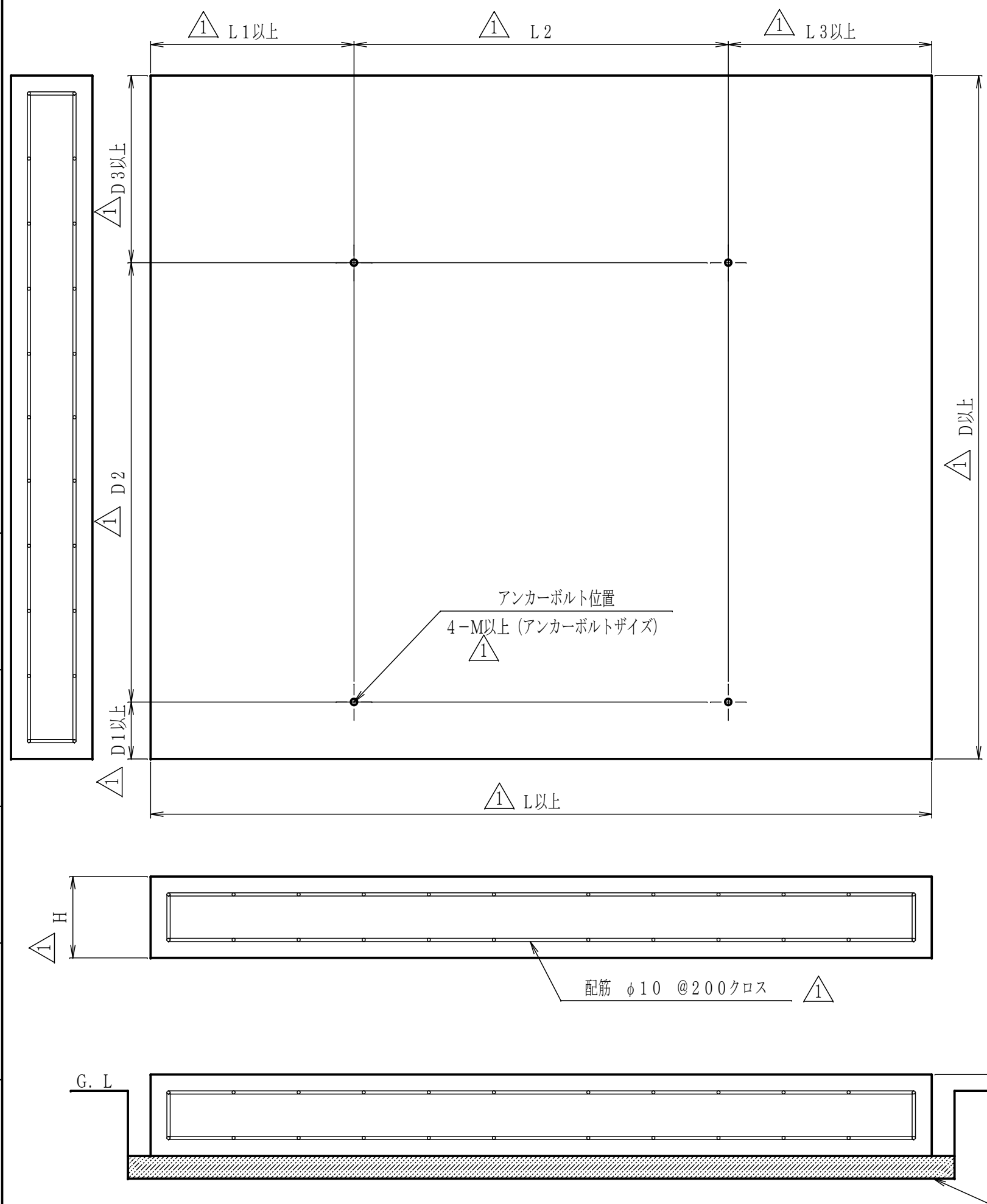


△3	08-11-28	200B追記	守部	川崎	△2	08-02-06	誤記訂正	守部	川崎	△1	07-08-10	図面集改定に伴い見直し	守部	川崎	△4	03-06-30	新規作成	守部	根岸
訂正ヶ所	訂正年月日	訂正理由	担当	承認	訂正ヶ所	訂正年月日	訂正理由	担当	承認	訂正ヶ所	訂正年月日	訂正理由	担当	承認	訂正ヶ所	訂正年月日	訂正理由	担当	承認

備考

- △1 (1) 土木工事
 1. 掘削底面には砕石を敷き詰めランマ等で転圧後、80mm~100mmになるようにする。
 注1. 地盤が軟弱な場合は、深さ1000mm程度の掘削をして土の入れ替えを行うこと。
 注2. 設置予定地がアスファルト舗装又は、鉄筋の無いコンクリート面の場合は、掘削範囲のカッター・はつりを行った後、上記処理を行うこと。
- △1 (2) コンクリート基礎工事
 1. 基礎は、鉄筋コンクリート造り又はコンクリート造りとし、コンクリートの設計基準強度は21N/mm²以上とする。
 2. コンクリート基礎は、完成後GL+50mm以上になるよう施工すること。
- △1 (3) 貯槽の設置
 1. バルク貯槽は、コンクリート基礎にアンカーボルトにより固定すること。
 注1. あと施工アンカーを用いる場合は、コンクリート製基礎に十分固着させたアンカーボルトの場合よりも引抜力が弱くなるものがあるので、使用するあと施工アンカー製造業者の説明書等によりアンカーボルトの場合と同等以上の定着性能や引抜耐力等の性能を有する事を確認すること。
 2. 接地接棒は、銅製であって、直径7mm以上、長さ300mm以上のもの又は表面積が6.671mm²以上のものを使用すること。
 3. 接地接続線（リード線）は、断面積5.5mm²以上を使用すること。
 4. 接地接続線は、φ10×1000mmを標準とする。
 5. 接地接続線の接続は、接続線同士は、リングスリーブにて接続し、貯槽への接続は、丸形端子にて貯槽の脚に設けてあるアース接続穴にボルトナットで固定する。
- △1※ 本図寸法は、基礎の参考最小寸法値であり、メンテナンススペース等含まず、設置スペースとは異なる。したがって実際の個々の現場の設置条件に合わせて寸法変更し施工すること。



△1	2900B	堅型胴取出し	3000	828	1344	828	3000	828	1344	828	400	24
△1	2900AE	横型鏡取出し	4000	1250	1500	1250	2300	350	1600	350	300	24
△1	2400AE	横型鏡取出し	4000	1400	1200	1400	2300	500	1300	500	300	24
△1	2000A	横型上取出し	4000	1100	1800	1100	2300	475	1350	475	300	18
△1	980AE	横型鏡取出し	2600	725	1150	725	1800	225	1350	225	150	16
△1	980A	横型上取出し	2600	725	1150	725	1800	225	1350	225	150	16
△1	500A	横型上取出し	2200	650	900	650	1400	200	1000	200	150	12
△2	300A	横型上取出し	1800	500	800	500	1200	200	800	200	150	10
△1	200A	横型上取出し	1800	590	620	590	1200	290	620	290	150	10
△2	150B	堅型天鏡取出し	1200	349	502	349	1200	349	502	349	200	8
△1	150A	横型上取出し	1600	490	620	490	900	140	620	140	150	8
△1	100A	横型上取出し	1600	500	600	500	900	250	400	250	150	8
△1	80A	横型上取出し	1600	500	600	500	900	250	400	250	150	8
	呼称	品 種	L	L1	L2	L3	D	D1	D2	D3	H	M (呼径)

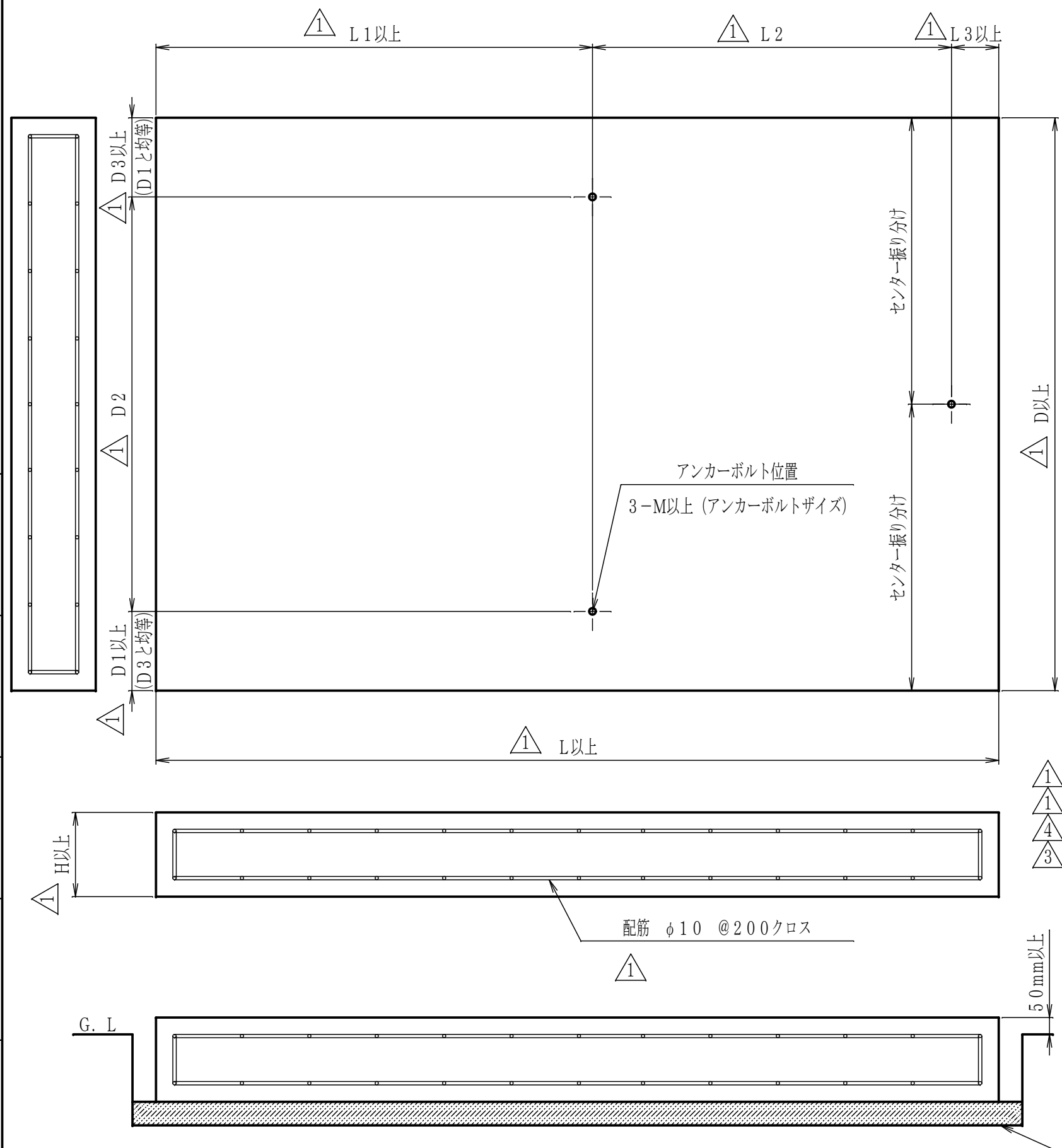
製 作	検 査	検 査	承 認	尺 度	日 付	製 品 名
守部	初見	滝沢	根岸	---	08-11-28	LPガスバルク貯槽 4本アンカー用 参考基礎図1
株式会社 関東高压容器製作所 バルク事業部						図 番
						BLHC-03005-3

BLHC-03005.03

△3	08-11-28	200B追記	守部	川崎	△2	08-02-06	誤記訂正	守部	川崎	△1	07-08-10	図面集改定に伴い見直し	守部	川崎	△	03-06-30	新規作成	守部	根岸	
訂正ヶ所	訂正年月日	訂正理由	担当	承認	訂正ヶ所	訂正年月日	訂正理由	担当	承認	訂正ヶ所	訂正年月日	訂正理由	担当	承認	訂正ヶ所	訂正年月日	訂正理由	担当	承認	
△4	12-12-28	300B 脚変更による【24東11990～】	守部	守部																

備考

- △1 (1) 土木工事
 1. 掘削底面には砕石を敷き詰めランマ等で転圧後、80mm～100mmになるようにする。
 注1. 地盤が軟弱な場合は、深さ1000mm程度の掘削をして土の入れ替えを行うこと。
 注2. 設置予定地がアスファルト舗装又は、鉄筋の無いコンクリート面の場合は、掘削範囲のカッター・はつりを行った後、上記処理を行うこと。
- △1 (2) コンクリート基礎工事
 1. 基礎は、鉄筋コンクリート造り又はコンクリート造りとし、コンクリートの設計基準強度は21N/mm²以上とする。
 2. コンクリート基礎は、完成後GL+50mm以上になるよう施工すること。
- △1 (3) 貯槽の設置
 1. バルク貯槽は、コンクリート基礎にアンカーボルトにより固定すること。
 注1. あと施工アンカーを用いる場合は、コンクリート製基礎に十分固着させたアンカーボルトの場合よりも引抜力が弱くなるものがあるので、使用するあと施工アンカー製造業者の説明書等によりアンカーボルトの場合と同等以上の定着性能や引抜耐力等の性能を有する事を確認すること。
 2. 接地接棒は、銅製であって、直径7mm以上、長さ300mm以上のもの又は表面積が6.671mm²以上のものを使用すること。
 3. 接地接続線（リード線）は、断面積5.5mm²以上を使用すること。
 4. 接地接続線は、φ10×1000mmを標準とする。
 5. 接地接続線の接続は、接続線同士は、リングスリーブにて接続し、貯槽への接続は、丸形端子にて貯槽の脚に設けてあるアース接続穴にボルトナットで固定する。
- △1※ 本図寸法は、基礎の参考最小寸法値であり、メンテナンススペース等含まず、設置スペースとは異なる。したがって実際の個々の現場の設置条件に合わせて寸法変更し施工すること。



△1	980B	堅型胴取出し	2200	570	1065	565	2200	485	1230	485	200	20
△1	500B	堅型胴取出し	1800	490	825	485	1800	423.5	953	423.5	200	12
△4	300B	堅型胴取出し	1500	475	675	350	1500	360.5	779	360.5	200	10
△3	200B	堅型鏡取出し	1500	450	600	450	1500	403.5	693	403.5	200	10
	呼称	品 種	L	L1	L2	L3	D	D1	D2	D3	H	M (呼径)

作製	検 図	検 図	承認	尺 度	日付	製品名
守部	初見	滝沢	根岸	---	08-11-28	LPガスバルク貯槽 3本アンカー用 参考基礎図2
株式会社 関東高压容器製作所						図番
バルク事業部						BLHC-03005-4

BLHC-03005.03